

。 〇〇。 〇〇。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 12. 25

下水道機構の『新技術情報』 第73号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。 〇〇。 〇〇。

読者の皆さま、Merry Christmas！寒波に見舞われ寒さ厳しいクリスマスとなりましたね。風邪やノロウイルス等々、体調にはお気を付けください。

さて、今年最後の機構メールマガジン『新技術情報』第73号をお届けします。

今年もご愛読ありがとうございました。また来年もよろしくお祈りします。

皆さま良いお年を！

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・下水道ICT活用に関する資料整理業務の企画競争参加者を公募します！
- ・1月の技術サロンのゲストは、水の天使 酒井美帆さんです！
- ・12月13日(木)、『技術開発』をテーマにサロンを開催しました
- ・12月4日(火)、技術委員会を開催しました

■機構の動き

- ・今週は、特に予定はありません

■Tea Break

- ・コーヒーの自家焙煎 (研究第一部 坪川貴芳さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・機構を卒業するにあたり (研究第一部 中村千秋さん)

■国からの情報

- ・12月21日付下水道ホットインフォメーション

。 〇〇。

インフォメーション (最新の話です)

。 〇〇。

- 「下水道におけるICT活用による課題解決に関する資料整理業務」の企画競争参加者を公募します！

説明書の交付期間は平成25年1月11日(金)、企画提案書提出期限は、平成25年1月15日(火)17時00分までとなっています。

詳細は、機構ホームページをご覧ください。

→ http://www.jiwet.jp/public-advertisement/ICT_20121225.pdf

- 1月の技術サロンのゲストは、水の天使 酒井美帆さんです！

下水道機構では、地方公共団体、民間等の皆様を対象に下水道に係わる最近の話題や新技術に関する交流の場として、毎月第2木曜日、「技術サロン」を開催しています。

第311回となる今回の技術サロンは、平成25年1月10日(木)17:00~18:00、当機構(東京・江戸川橋)会議室にて開催します。ゲストは、2012年度ミス日本「水の天使」の酒井美帆さんです。水の天使として過ごした一年間と日本の下水道広報について考えたこととお話しいただき、皆様と意見交換を行います。酒井さんからは、「ミス日本「水の天使」となってから、全国各地で活動してまいりました。そこで私が感じたことや、日本の下水道広報について考えたこととお話しいたします。一年間の任期の締めくくりと思うことを、述べさせていただきます。」とのメッセージをいただいています。今後の下水道の広報を一緒に考えてみませんか？

会場の定員は80名、先着順での受付を基本としています。皆様多数のご参加をお待ちしております。

※参加申し込みは当機構ホームページから

→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-311.htm>

- 12月13日(木)、『技術開発』をテーマにサロンを開催しました

下水道分野では当機構も含めて多様な技術開発が進められています。今回のゲストには、日本下水道事業団技術戦略部の藤本技術開発審議役をお迎えして、日本下水道事業団における最新の技術開発の取り組みについてご講演いただきました。当日は、JSの40年にわたる技術開発と実用化の概要、第3次技術開発基本計画とMBR、アナモックス、リン回収、バイオガス等に関する最新の取り組み、そして最後に放射性物質を含む下水汚泥に関する各種調査についてご紹介いただきました。これらの取り組みがさらに進み、様々な課題が解決していくことを期待してやみません。

※11月の技術サロン、国土交通省下水道部の白崎調整官様の資料を専用サイト登録者のページに掲載しました。登録者は、これまでのサロンの資料がご覧いただけます。

- 12月4日(火)に平成24年度の第2回技術員会が機構特別会議室で開催され、今回委員会では9テーマ中、7テーマについて発表(審議)が行われました。

以下に各テーマの審議概要を示します。

(1)NADHセンサーを用いた風量制御による窒素除去法に関する実用化研究

本研究は福岡市との共同研究であり、平成21年度に行った実行可能性調査を含めて4年目となる継続案件です。委員会では、平成24年10月までのデータをもとに、窒素及びリンの処理状況や消費電力量の試算に関する報告を行いました。現在の処理状況は窒素・りんともに良好であり、消費電力量についても比較的良好な試算結果がでています。審議ではNADHの特徴に関する記述について御指摘を頂きましたので、今後、表現方法等を整理し、次回の委員会で最終審議を受ける予定です。

(2)雨水吐口付近に設置可能なコンパクトな合流改善技術に関する実用化研究

本研究は、自然排水区の雨水吐口に適用可能な合流改善対策技術の一つとして、東京

都と共同研究を行っているもので、昨年度からの継続案件です。委員会では、ろ層厚とろ過速度を変化させて行った実験結果や、所定の機能を判断するための総合除去率に関して報告し、装置の汎用性や設置条件に関する質疑応答が行われました。これらの指摘事項を踏まえて報告書を取りまとめ、次回の委員会で最終審議を受ける予定です。

(3)鋼板製消化タンクに関する共同研究

本研究は、(株)神鋼環境ソリューションと当機構で平成 22 年度から実施している共同研究で、継続案件として審議が行われました。従来、コンクリート製で建設されていた消化タンクを鋼板製にすることで、経済的に建設することを目的としています。

委員会では、消化性能や保温性能などこれまでに得られた運転結果及び実施中の実証試験結果を報告し、課題や意見等をいただきました。これら指摘事項を踏まえて技術マニュアル案を作成し次回委員会の審議を受け、今年度、技術マニュアルとしてまとめる予定です。

(4)トータルエネルギーシステムとしての汚泥減量化技術に関する共同研究

本件は、(株)神鋼環境ソリューションと当機構の共同研究になります。今回の委員会では、汚泥の可溶化設備を導入した場合の費用効果やエネルギー削減効果についてのケーススタディの結果について報告を行いました。また、未利用エネルギーである焼却設備からの廃熱利用の効果も踏まえ議論を行いました。本テーマは今年度、技術マニュアルとしてまとめる予定です。

(5)回転ドラム型濃縮機の性能に関する共同研究

本研究は、(株)タクマと当機構で実施している共同研究で、継続案件として審議が行われました。委員会では、余剰汚泥を対象とした四季データ、連続運転などの実証試験結果を報告しました。また、混合生汚泥を対象として濃縮工程の薬注率を高くし、脱水工程での薬注率を下げたトータルの薬注率は同等以下にして処理量を最大 5 倍程度に増やす運転方法の結果と建設費、維持管理費についての検討結果を報告しました。課題や意見等をいただき、これら指摘事項を踏まえて技術マニュアル案を作成し次回委員会の審議を受ける予定です。

(6)下水処理場における小型バイナリー発電による排熱利用に関する共同研究

本件は、(株)神鋼環境ソリューションと当機構と当機構で実施している共同研究で、新規案件として審議が行われました。焼却炉からの低位排熱を利用した排熱発電を実証試験より検証するものです。技術の概要、スケジュールを説明後、研究内容、研究項目について課題やご意見等をいただきました。平成 24 年度までに実証機の製作を行い、平成 25 年 5 月よりデータの取得を予定しています。本テーマは技術マニュアルとして、平成 25 年度内にまとめる予定です。

(7)シールド切替型推進工法の技術に関する共同研究

本研究は、デュアルシールド工法協会と当機構で実施している共同研究で、継続案件として審議が行われました。本工法は、発進立坑から推進工法で管きよを布設し、急曲線などのために推進工法で施工できない区間をシールド工法に切り替えて管きよを布設するも

のです。委員会では、本工法の適用条件や推進管とセグメントの仕様の考え方、推進区
間からシールド区間への切替部の耐震計算の検討結果などを報告し、課題や意見等をい
ただきました。これら指摘事項を踏まえて、今年度中に技術資料のとりまとめを目指して
おります。

機構の動き (機構の行事予定です) 。 〇〇。

。 〇〇。

◎第 311 回 技術サロン

日時：平成 25 年 1 月 10 日(木) 17:00～18:00 場所：機構 8 階会議室

ゲスト：ミス日本「水の天使」酒井 美帆さん、テーマ：水の天使として過ごした一年
間と日本の下水道広報について考えたこと

※参加お申し込みはこちら

→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-311.htm>

●1/16(水) 下水道クイックプロジェクト推進委員会

●1/16(水)～2/1(金) 下水汚泥エネルギー化の好事例説明会

※詳細はこちら→ <http://www.jiwet.jp/pdf/gesuioidei-energy.pdf>

●1/24(木) 横須賀市下水処理場等の津波対策基本計画に関する検討委員会

●1/25(金) 第 61 回(平成 24 年度第 2 回)新技術現場研修会

※参加お申し込みはこちら→ http://www.jiwet.jp/school/school-01_061.htm

●2/8(金) 新技術研究発表会【大阪会場】

2/15(金) 新技術研究発表会【東京会場】

※参加お申し込みはこちら→ http://www.jiwet.jp/school/school-04_018.htm

Tea Break (機構職員の感じるまま) 。 〇〇。

。 〇〇。

●コーヒーの自家焙煎 (研究第一部 坪川貴芳さんからの投稿です)

寒くなり、コーヒー豆の焙煎が楽しい季節になりました。いわゆる自家焙煎ですが、意
外とお手軽です。道具は、銀杏煎り網、ザル、うちわ、そして生豆(なままめ)。銀杏煎り網
に入れた生豆は、強火の遠火で全体にムラなく伝熱するよう、シャカシャカと振り続けま
す。7～10 分程でバチッと音を立てて、はぜ始めます。これを 1 ハゼといい、浅煎りの状
態となります。

さらに 3～5 分程続けると、ピチッと先ほどより高い音で、はぜます。これを 2 ハゼとい

い、

中煎りから深煎りの状態となり、部屋中が得も言われぬ強烈なアロマで満たされます。

焙煎した豆は鮮度が命ですので、1週間以内に飲み終えたいところですが、数ある抽出法の中でも、私は特に水出しがお気に入りです。水出しは専用の装置を使って、一滴一秒ペースで抽出します。大変時間がかかりますが、火を加えないので、酸化しにくく、アイスでも、湯煎でホットでも冷蔵で1週間くらいは楽しめます。

良さそうなことばかり書きましたが、自家焙煎は豆の薄皮があたり一面に飛散しますので、焙煎後には、コンロまわりの掃除(妻対策)がもれなくセットとなります。

皆さんも、好みのコーヒー見つけてみませんか？

_____。○○。

まる子の結まーる (皆様との交流の場です)

。○○。 _____

●今回は、12月31日付で機構を卒業する研究一部 中村千秋さんよりメッセージをいただいています。

→ http://www.jiwet.jp/mailmaga_yuimaru/staff-info/graduation20121225.pdf

*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



|\★/| jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*/**/*

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。



下水道ホットインフォメーション (2012.12.21付、国からの最新情報です)

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 吉澤正宏



明日は、今年最後の自治会の役員会のあと、集会所やその周辺の(大)掃除ということで「師走」の雰囲気なのですが、職場の方は、予算がこれからという中で、いつもと変わらぬ

雰囲気です。さて、2月恒例、下水道職員健康駅伝大会(2月9日)のご案内が届きました。

年々参加チームが増加している駅伝大会ですが、今回は大会運営上、約300チームでと

の記載もあるようです。お急ぎください！ 私は、できれば応援で・・・だめですかね？

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○第1回 下水道施設の運営における PPP/PFI の活用に関する検討会を開催しました

【下水道企画課】

○第1回 下水道における ICT 活用に関する検討会を開催します【下水道企画課】

○第1回ストックマネジメント手法を踏まえた下水道長寿命化計画策定に関する検討委員会の開催について【下水道事業課】

○第3回水環境マネジメント検討会の開催について【流域管理官】

●第27回下水道健康駅伝大会の開催について【横浜市】

★図書のご案内☆

■「水の日本地図」（朝日新聞出版）

=====

○第1回 下水道施設の運営における PPP/PFI の活用に関する検討会を開催しました
【下水道企画課】

12月14日、第1回下水道施設の運営における PPP/PFI の活用に関する検討会(座長：滝沢智東京大学大学院教授)を開催しました。議事では、下水道事業の現状、PPP/PFI への取組状況、検討の進め方等について議論され、今後、「下水道施設の視点」、「下水道管理者の状況の視点」、「事業者の参入意欲の視点」を総合的に勘案し、PPP/PFI の活用の可能性や実現支援方策などについて検討していくこととなりました。2月に第2、3回として、地方公共団体及び民間企業等による発表とディスカッションを行う予定です。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage tk 000258.html

○第1回 下水道における ICT 活用に関する検討会を開催します【下水道企画課】

国土交通省では、持続的な下水道事業の実現に向け、効率的な施設管理や地方公共団体・企業等が保有する膨大なデータの利用等における ICT（情報通信技術）の活用方策について検討することを目的に、「下水道における ICT 活用に関する検討会」を設置し、12月27日に第1回検討会を開催いたします。

<http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13 hh 000183.html>

○第1回ストックマネジメント手法を踏まえた下水道長寿命化計画策定に関する検討委員会の開催について【下水道事業課】

下水道施設ストックの増大、老朽化に対応して、「下水道長寿命化支援制度」を創設するなどして、下水道施設の計画的な改築修繕の実施を推進しているところですが、現在の下水道長寿命化計画は、個々の下水道施設に着目した長寿命化対策、更新計画の域を脱しておらず、下水道施設全体を最適化するストックマネジメントの考え方が浸透しているとは言い難いところがあります。

このため、下水道施設におけるストックマネジメント手法の普及促進を図るとと

もに、現在の下水道長寿命化支援制度に関する手引き（案）の充実を図ることを目的として、本委員会を設置し（委員長：滝沢智東京大学大学院教授）、その第1回を12月17日に開催しました。委員会資料については、追って下水道機構のHPに掲載する予定です。

○第3回水環境マネジメント検討会の開催について【流域管理官】

社会情勢の変化をふまえた上で、水環境の改善に向けた、より効果的・能動的な下水道等管理の実現に向け、新しい時代の水環境マネジメントのあり方を検討するため、「水環境マネジメント検討会」を国土交通省と（公社）日本下水道協会のもとに設置し、第1回検討会が8月16日に、第2回検討会が10月17日に開催されたところです。

引き続き水環境マネジメントの議論を具体化すべく、12月26日に第3回検討会を開催いたしますのでお知らせします。

詳細は下記のサイトをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000259.html

●第27回下水道健康駅伝大会の開催（2月9日）について【横浜市】

今大会は、日産スタジアムが改修で使用できないため、皆様には大変ご迷惑をおかけします。今回は、駅伝大会黎明期に使用した横浜市三ツ沢陸上競技場での開催となります。縣市スタッフ一同頑張ります！みなさん今大会を盛り上げていきましょう！

参加の申し込みは、下記の大会ご案内ページ内「下水道健康駅伝大会案内及び申込みホームページアドレス」から、お願い致します。申込み期限は平成25年1月11日までとなります。

今大会は例年の開催場所である日産スタジアムが改修工事中で使用できないため、横浜市三ツ沢陸上競技場での開催となります。

また、大会運営上の理由により、参加チーム数は昨年と同程度の約300チームとさせていただきます。このため、参加申し込みは「先着順」となっていますので御注意願います。

http://www.sportsone.jp/dl/gesuidou_ekiden_information.htm

<再掲>

報告会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の報告会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■下水汚泥エネルギー化の好事例説明会の開催について

【下水道企画課・下水道機構】

（平成25年1月16日～2月1日開催：開催地により異なる）

<http://www.jiwet.jp/pdf/gesuiodei-energy.pdf>

→12月14日掲載

■21世紀水倶楽部連続研究集会の開催について【NPO21世紀水倶楽部】

(平成 25 年 1 月 30 日開催)

<http://www.21water.jp/j-sched.htm>

→11 月 30 日掲載

★図書のご案内☆

■「水の日本地図」(朝日新聞出版)

読者の方より、情報をいただいております。コメントを引用させていただきます。
東大のサントリー寄附講座「水の知」の集大成として出された本で、著者は沖大幹教授他です。水資源から上下水道、災害等、多岐にわたり多数のデータがわかりやすく示されているので、読んでも面白いのですがデータ集としても重宝しそうです。

とのことです。詳細は下記 URL からどうぞ。

http://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=14428

■丹保憲仁先生著『水の危機をどう救うか』(PHP 研究所)

<http://www.php.co.jp/books/detail.php?isbn=978-4-569-80925-0>

→11 月 30 日掲載

=====

【参考情報】

◆液状化対策で 地区ごとの説明会 神栖市 <12/14 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/ibaraki/20121215/CK2012121502000143.html>

◆高度成長期の道路やトンネルが危ない! 「コンクリート劣化」の恐怖 <12/14 J-CAST ニュース>

<http://www.j-cast.com/2012/12/14158309.html>

◆海水熱で冷暖房管理、シーパラがシステム導入へ計画/横浜 <12/14 カナロコ(神奈川新聞)>

<http://news.kanaloco.jp/localnews/article/1212140004/>

◆大手商社、ミャンマー首都集結 ヤンゴンと 2 拠点体制 インフラ受注へ足場 <12/18 SankeiBiz>

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/121218/bsd1212180504003-n1.htm>

◆大津市公営企業管理者、民間から初登用 <12/19 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/shiga/news/20121218-OYT8T01518.htm>

◆集中的なダメージ与える都市型水害 防火板&シャッターで備えを(2-1) <12/20 SankeiBiz>

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/121220/bsc1212200502001-n1.htm>

◆東京・港区、独自に津波・液状化予測 <12/20 日刊工業新聞>

<http://www.nikkan.co.jp/news/nkx1420121220hkav.html>

◆注目の新エネルギー源、下水の熱 <12/20 ナショナルジオグラフィック>

http://www.nationalgeographic.co.jp/news/news_article.php?file_id=20121220002

◆Waste Wattage: Cities Aim to Flush Heat Energy Out of Sewers <12/11

National Geographic >

<http://news.nationalgeographic.com/news/energy/2012/12/121211-sewage-heat-recovery/>

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～

発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→

jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/seikai3.pdf>
